

◆teku-teku2013★千住・未来楽器図書館企画（活動記録＋評価結果）◆

企 画■アートのまちづくりを歩く（3）～千住を歩き、未来楽器図書館を探す～

日 時■2013年11月17日（日）13:30～17:00頃

コース■北千住駅西口デッキ＜集合＞～長円寺（魚籃観音＋めやみ地蔵）～名倉医院～日光道中・千住宿～千住西口路地裏界隈～東京電機大学千住キャンパス～千住東口商店街～柳原商店街＋未来楽器図書館＜即興コンサート参加＞～北千住駅東口＜解散＞

参加者■◎井手幸人、大竹柊子、大竹 亮、斎藤大和、山中洋子（以上5名、敬称略、◎コーディネーター）

企画主旨■千住は鉄道5路線が乗り入れる東京有数の交通拠点であり、近年、北千住駅西口の再開発や東口の東京電機大キャンパスなど、それにふさわしい整備が進められています。一方で、日光道中・千住宿の町並み残り、昔ながらの庶民派商店街も健在です。今回、音をテーマにまちなかアートを展開する足立区アートアクセス「音まち千住の縁」の一環として、疲弊が進む柳原商店街の一角に元豆腐屋を活用して「未来楽器図書館」なるものが暫定オープンしました。このミスマッチにも見える斬新な実験がどういう効果をもたらすのか、即興演奏会を訪ねて体験し、アートの力による街の再生について考えてみましょう。

＜参加者の意見・評価＞

1◆千住西口界隈（駅前再開発、商店街、日光道中・千住宿） 評価：4.00 内訳：AABB

評価A●日光道中・千住宿界隈は、東京では珍しく伝統商家が残り、路地奥の蔵にも風情がある。駅前再開発は一般的な計画だが、デッキを下りた先の商店街には味わいがあり、特に南へ伸びる狭い商店街やその裏道などは、隠れ家的な雰囲気のお店がいくつもあって未知の魅力が潜んでいる。

評価A●着物屋や下駄屋など昔ながらの店があって楽しく、親しみやすい感じでした。駅前も歩きやすく好印象でした。

評価B●駅前再開発はほぼ終了で、駅前の利便性は向上しています。少し歩くと宿場町の面影もあり、散策すると風情があり面白いと思いました。高校生の頃通り慣れた街なので、変わってしまったことに寂しさもあります。

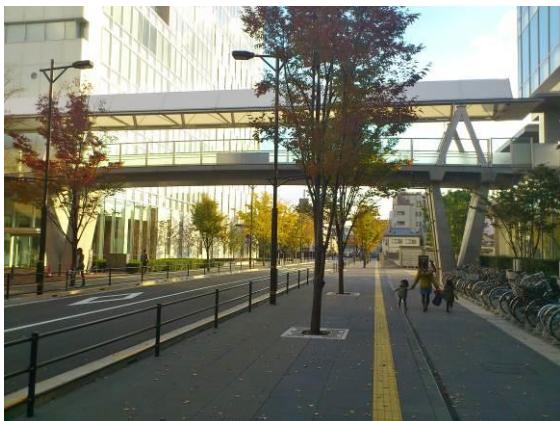
評価B●再開発エリアとその周辺の馴染みがまだスッキリしてないように思います。



千住西口／日光道中・千住宿の街の駅



千住西口／長円寺の境内にある魚籃観音



千住東口／東京電機大キャンパスと新設道路



千住東口／狭い道に店舗が並ぶ柳原商店街

2◆千住東口界隈（東京電機大キャンパス、柳原商店街など）

評価：4.00 内訳：AABB

評価A●駅前には広場を設けずに、少し先の東京電機大キャンパスの前に創ったことにより、駅前商店街の賑わいと街の人間味が残されている。すぐれた計画であり、他でも採用してもらいたい。東京電機大キャンパスは、建物のデザインも高水準だが、セキュリティゲートを建物の内部に引っ込めることで、ショップ、ギャラリーや渡り廊下、学生食堂などを外来者も利用でき、町に開かれた公共性の高い計画になっている。

評価A●評価するにはまだ時間が必要かと思いますが、既存の木造住宅密集地とそこに埋め込まれた新しいキャンパスが、どのように変わっていくか楽しみです。

評価B●東京電機大キャンパスは、町に開かれている印象で良かったです。商店街は少し寂しい印象でした。

評価B●西口よりもずっと驚愕の変貌ぶりで、もはや北千住のイメージではないです。学生が増えたことによって街の雰囲気随分変わりました。その奥にある柳原商店街は元々の雰囲気を残していますが、寂れています。でも暮らしていくには落ち着いていて、安心感があります。

3◆未来楽器図書館（音う風屋）

評価：4.00 内訳：AABB

評価A●行ってみるまで想像がつかないような試みでした。古い店舗併用住宅（お豆腐屋さん）をそのまま生かし、その中で訪れた人々が参加して、様々な未来楽器（？）で即興演奏を繰り広げるという趣向で、知らないうちに「演奏家」にさせられてしまいました！ 体験を共有するうちに何かが生まれそうな企画です。

評価A●木造住宅密集地でのこうした企画、楽しいです。もっとあちこちにこうした拠点ができると、初めてきた人々が、この地区を歩き、この地区の歴史と接し、住んでいる人と話ができるようになるのでは。

評価B●昔の豆腐屋さんを利用した空間はユニークで良いと思いました。人々が集まって一緒に楽しむ場になればよいと思います。

評価B●古い建物で、手作り感満載のイベントに参加できて、大変面白かったです。新しく作られた街で同じことをしても、あの感じは出せないですね。地域の方々と外から来た人々がゆるく交流が続けられたら、楽しいと思います。



柳原商店街の一角に出現した未来楽器図書館



元豆腐屋の器材を残して設えた内部空間



未来楽器図書館2階（元住居）でのコンサート



様々な楽器を使って観客も交えた即興演奏

4 ■今後、千住はどのようなまちになってほしいですか。

- 大々的に変わってしまったけれども、せっかくの宿場町なので昔の雰囲気も残しながら良くなってくれればと思います。ただ、やっぱり怪しげな北千住が好きだったので、その猥雑さを無くさないでほしいと思います。
- 鉄道5線が交差する一大拠点でありながら、日光道中・千住宿の面影や柳原商店街の風情を残す貴重な街である。東西の再開発も一段落したので、これからは開発を抑制し、路地裏の猥雑さと個々の商店の魅力で頑張る回遊性のある街になってほしい。(特にマンション1階部分を必ず店舗にすることが大切と思う)
- 昔ながらの風情がある町で、歩いていてとても楽しかったなので、その雰囲気を残してほしいと思いました。
- この地区の歴史を辿れる要素といかがわしさを少し残したまちになってもらいたい。



庶民的な雑多さにぎわう西口商店街一帯



路地の奥に蔵がたたずむ西口住宅地界限

5 ■未来楽器図書館は、柳原商店街や千住のまちにどのような効果・影響をもたらすと考えられますか。

- まるで「時の忘れもの」のような柳原商店街の一角で、このような前衛的な試みが始まったのが面白い。商店街としての再生は厳しそうだが、今までと違う人が集まるきっかけになれば、居住の場としての町の魅力づくりにつながるのではないかな。
- 若い人(初めてこの地区を訪れる人)とこの町とをつないでくれる面白い企画だと思います。
- 人々が集まる場をつくる効果があると思います。ここをきっかけに、他にも様々なアートスペースが生まれればよいと思いました。
- 当日どうも連絡先を残していたようで、あれからずっとメールの案内が来ています。面白そうな企画をやっているようですが、なかなか行けなくて残念です。外からやってきた人と地元の人がゆるく混じり合って楽しんで、気がついたら「北千住に行くと、面白い事があるよ」というような活動になったらいんじゃないかなと思います。

6 ■その他、今回の企画に対する感想など(自由記入)

- 北千住には割とピンポイントでしか行ったことがなくて、回遊したのは初めてでした。北千住を盛り上げようという活動も活発で、多様性があり他にもいろいろ見てみたいとなりました。荒川区では「松尾芭蕉・奥の細道の出発の地」として南千住を大々的に推して行こうとしています。北千住の資源に比べたら貧弱だと思わざるを得ませんでした。松尾芭蕉つながりでビックイベントを企画していますので、荒川区も荒川区らしく俳句のまちとして盛り上がってほしいと思います。(Y・Y)
- 数年前に初めて柳原商店街に迷い込んだ時の衝撃は忘れられません。懐かしい昭和戦後の街の姿が疲弊しつつもそのまま残存していました。千住の町全体としては発展しているので、未来楽器図書館のような試みから、既存建物のリノベーションによる生活の場の再生が始まることを期待します。(O・R)
- アートスペースの存在によって町が活気づいてゆけばよいと思いました。(O・S)
- (音う風屋で)石けんを叩いたのが面白かった。(S・H)
- 数年後にまた歩きたいまちです。未来楽器図書館周辺は、電大周辺はどのようなになっているのでしょうか？(I・Y)

